

IRとスポーツを融合した 新たなエンターテインメント 施設による地域活性化策

大阪がオリンピックの負の遺産を解消するための提言

大阪経済大学 相原ゼミB

伊東香輝 岡澤南帆 柿本啓人 鈴木要 戸松龍一郎

研究の背景

日本開催！！

RWC2019

東京オリンピック・パ
ラリンピック2020

関西ワールドマスタ
ーズゲーム2021

訪日観光客数の増加！！

ツーリズム産業

● ツーリズム産業がもたらす経済効果

(単位: 10億ドル)

20,000
18,000
16,000
14,000

7兆2000億US\$
世界全体の9.8%

世界のツーリズム産業はGDPの約10%を占める！！

8,000
6,000
4,000
2,000
0

銀行業

自動車製造業

教育産業

農業

化学製造業

ツーリズム産業

鉱業

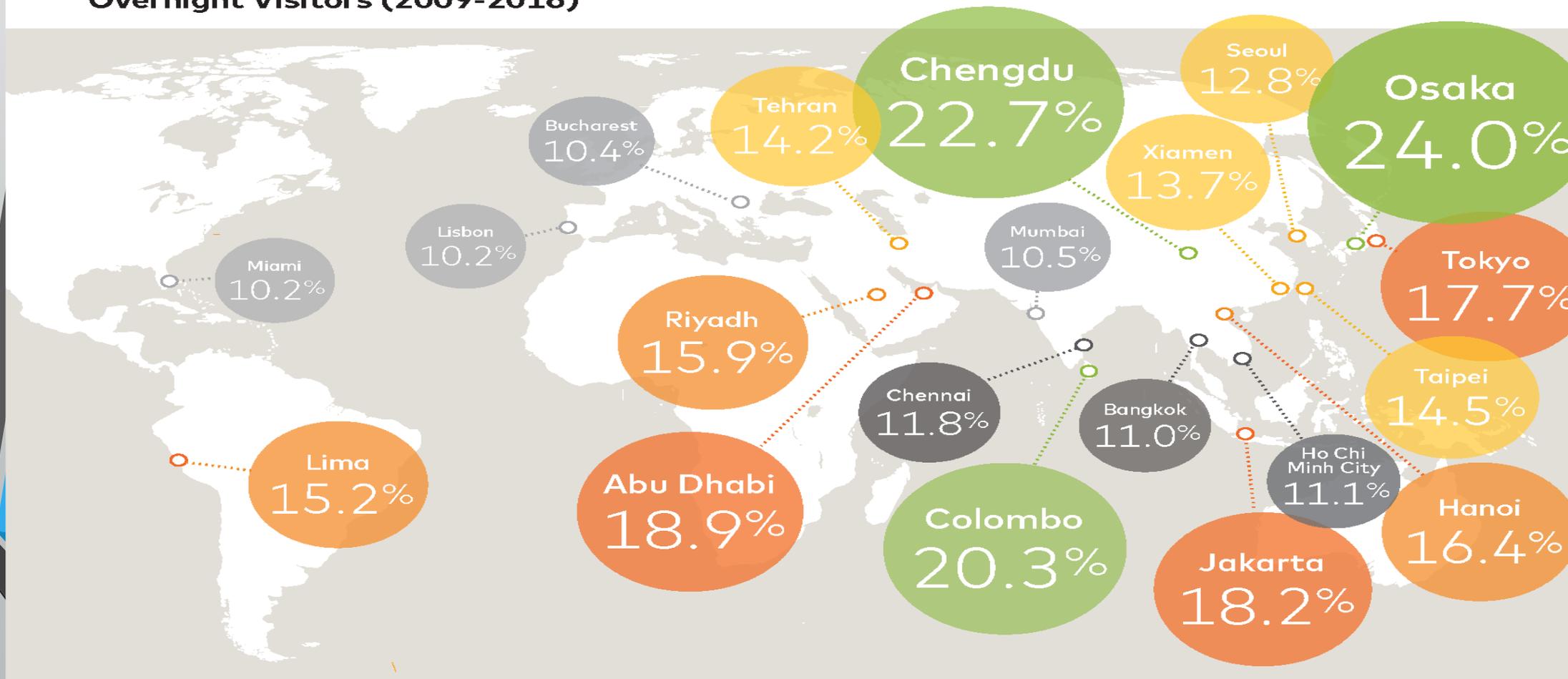
金融サービス

小売業

世界のインバウンド増加率

大阪のインバウンド増加率
年平均+24.0%で第一位！！
(2009年～2016年)

Osaka is the Fastest Growing Destination City by International Overnight Visitors (2009-2016)



世界的創造都市、国際エンターテインメント都市へ



- 日本万国博覧会（2018年11月23日の総会で決定）
 - 統合型リゾート<IR>
- } 誘致



目標となる10の目指すべき都市像と施策の方向性の決定

目標となる10の目指すべき都市像

- ◆ 世界に誇れる自慢の都市
- ◆ 多様な人材が集う 観光・MICE都市
- ◆ 大阪が誇る文化力を活用した都市
- ◆ アジアをリードする国際・プロスポーツ都市
- ◆ 世界で活躍できるグローバル人材育成都市
- ◆ 安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市
- ◆ 多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市
- ◆ あらゆる人々が文化を享受できる都市
- ◆ 健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市
- ◆ 出会いが新しい価値を生む多様性都市

- ◆ アジアをリードする国際・プロスポーツ都市
 - 国際的なスポーツイベントの開催
 - スポーツ都市大阪の魅力発信
 - ラグビーワールドカップ、オリ・パラ、関西ワールドマスタースゲームズの開催を契機としたレガシーの形成
- ◆ 健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市
 - スポーツを「する」機会、「ささえる」力の拡充
 - スポーツを通じた健康増進



大阪が誘致を進めるIRに着目

研究の目的・方法

■ 統合型リゾート

カジノ施設、ホテル、レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、MICE（Meeting:会議、Incentive Travel:研修旅行、Convention:国際会議、Exhibition:展示会）施設が組み合わさった複合型施設。

1. 世界各所で大きな経済波及効果

2. 安定的な運営

3. 2020年に向けてさまざまな戦略を立てる大阪

統合型リゾート（IR） × スポーツ

1. 統合型リゾートの施設の中にスポーツに興味関心のない大学生も含め、多くの人々が親しめるスポーツ施設の新設
2. 今まで大阪にあまり親しみがなかった新たなスポーツの導入

IRを活用して大阪の街を盛り上げる

研究方法

◆ 文献調査

先行文献や最新文献、および関連文献、統計情報など必要な情報をインターネットやデータベースを利用して行った。

◆ 定性調査（2018年7月24日）

- 調査対象：大阪市IR推進局ご担当者
- 調査内容：大阪市統合型（IR）事業の取り組み、課題、可能性など

◆ 定量調査（2018年10月2日、16日）

- 調査対象：スポーツ産業論受講生である大学生122名
- アンケート調査①：IRが大阪に立地されたら、何を期待するか
- アンケート調査②：IRとエンターテインメントを組み合わせることで経済効果を上げるために、どのような組み合わせが適しているか

結果

◆ 文献調査の結果

1. 統合型リゾートは世界各国で大きな経済効果を発揮
2. 大阪のインバウンド数（2009年～2016年で）約5.5倍増加
（約170万人→約940万人）
3. モータースポーツやアリーナといったスポーツを実施するIR施設が多い
4. 関西におけるアリーナ不足

統合型リゾートは世界各国で大きな経済効果の発揮

■ シンガポール



出典：産経WEST国の未来かけカジノ解禁 シンガポールにそびえ立つ巨大リゾート（2018年4月4日）

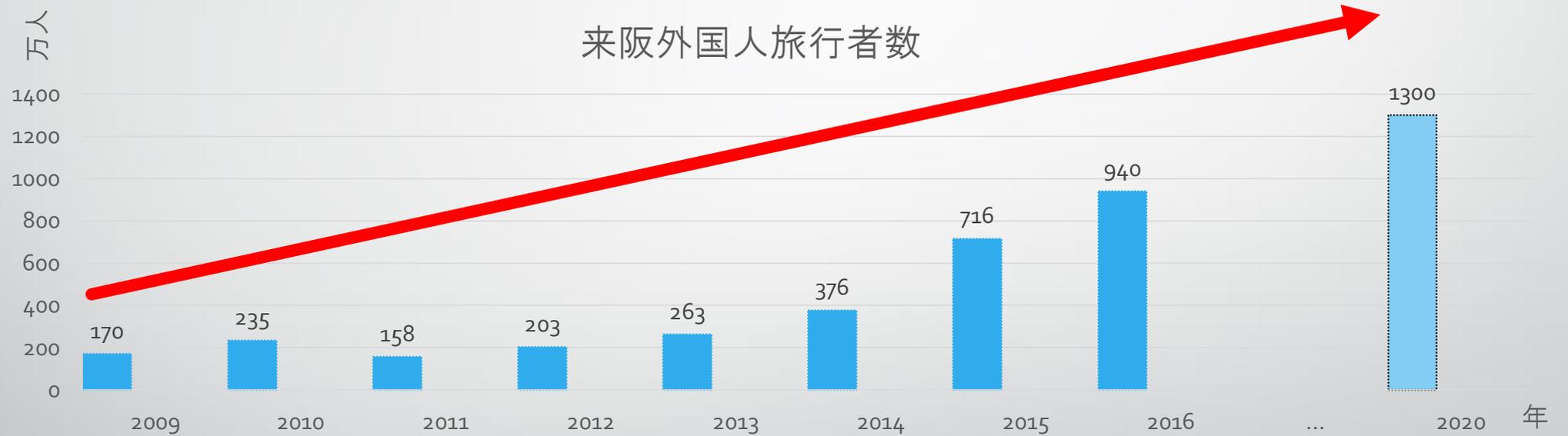
■ マカオ

年次	GDP (億MOP)	成長率 (%)	人口一人当たりGDP (ドル/人)
2006	1165.7	23.4	29263
2007	1450.8	24.5	34661
2008	1662.7	14.6	38391
2009	1701.7	23.4	39775
2010	2269.4	33.4	52817
2011	2950.5	30.0	66982
2012	3482.2	18.0	76588

資料：澳門特別行政区政府統計普查局

※1MOP=13.9円で換算

大阪のインバウンド数約5.5倍増加（2009年～2016年）



出典：毎日新聞（2018年1月16日）

世界一のインバウンド成長率！！

IRにおけるモータースポーツやアリーナの例

■ マカオGP



■ ラスベガス T-MOBILE ARENA



■ ラスベガス モータースピードウェイ



■ マカオ コタイ・アリーナ



関西におけるアリーナ不足

1万人～2万人前後の収容人数を誇るアリーナが二つしかない。
スポーツをメインに行うアリーナ施設はほぼない。

■ 大阪城ホール（1万6000人）



■ 神戸ワールド記念ホール（9964人）



SWOT分析

■ Strength (強み)

- 大幅な経済効果が期待される
 - シンガポールにおける訪問者や観光客収入の増加
 - マカオのGDPが7年間で3倍近くの増加（2006年～2012年で1165.7億から3482.2億）
- 安定的な施設運営（カジノの収益で賄えるため）
- さらなるインバウンド数の増加
- 既存の周辺集客商業施設の活用や雇用の増加による関西全体の活性化
 - 舞洲や咲洲、ユニバーサルスタジオジャパン、海遊館など

■ Weakness（弱み）

- ギャンブル依存症への懸念
- 民間事業者がカジノ運営を行うリスク
- マネーロンダリングの増加
- 治安への影響

潜在的リスク



これらが絶対に起こらないようにする仕組みや法、制度を作るのが大前提！！

■ Opportunity（機会）

➤ カジノ産業からアジアへの投資が押し寄せている

- 高い経済成長、個人金融資産の増加
- アンダーサプライ

} 施設量の計画的な拡大が
市場の牽引を生む！！

➤ 大阪のインバウンド数の増加

➤ 交通インフラの整備

- 格安航空（PEACH, JETSTARなど）
- 夢洲への鉄道の開通

➤ 富裕層の増加

- 日本では100万人以上の増加が見込まれている（2015年～2020年にかけて212万人～359万人）

■ Threat (脅威)

- シンガポールやマカオ、ラスベガスなどのIR
- 中国など周辺各国などの経済成長
- 日本政府の新規事業の停滞

SWOT分析より

- IR(統合型リゾート)というエンターテイメントや大阪のインバウンド数、臨海部、交通インフラの整備など人が集まるにはとても良い環境条件が揃っている
- IRの建設によってインバウンド数はさらに増加することが見込まれる



利用する

IR×スポーツで（スポーツを通じ）
大阪から関西全体の活性化！！

◆ 定性調査の結果

➤ 大阪オリンピックの負の遺産である夢洲を有効活用

〈夢洲〉

- ・ 総面積 3 9 0 ha
- ・ 住人 0 人
- ・ 建設当初は大阪五輪の会場や選手村にする計画であったが誘致に失敗
- ・ 現在は高規格的コンテナターミナルやメガソーラーパネルが設置されているが、全体的に広大な空き地が広がる



〈統合型リゾートとして活用する利点〉

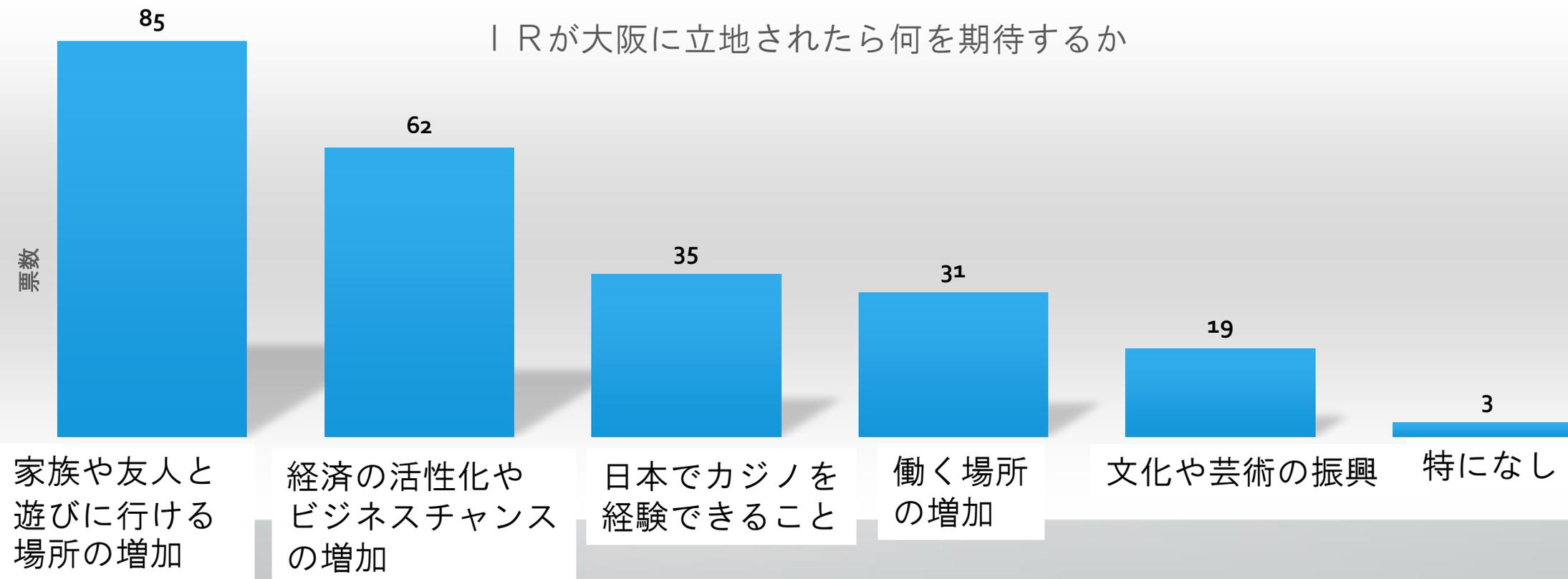
- ・ 170haもの広大な土地
- ・ 海に囲まれているため近隣への騒音を気にしなくても良い
→ エンターテインメントも行うことができる
- ・ 臨海部の景色が良く、過ごしやすい



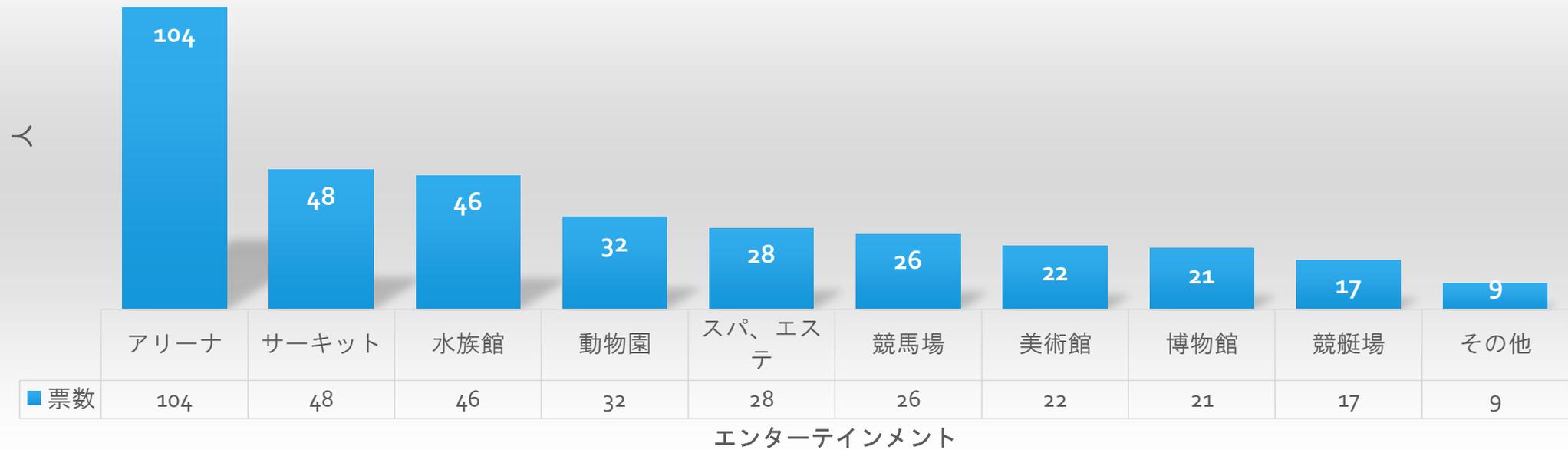
咲洲、舞洲、夢洲など大阪ベイエリアを一括りとした
滞在型観光都市の実現



◆ 定量調査の結果



アンケート結果



- 調査した学生の約87%がアリーナの建設、それについてサーキット場の建設が多かった

提言

これらの調査結果により、大阪はアリーナやサーキット場の建設をするべき



アリーナとサーキット場の建設を提言する



① アリーナの建設

アリーナで行える催し物

- スポーツの大会・公式試合

(バスケットボール、バレーボール、卓球、格闘技、eスポーツ など)

- 有名アーティストのコンサート

- フェスなどのイベント (スポーツ、音楽、食 など)

ナイトエンターテインメント



① アリーナの建設

アリーナ建設のメリット

- スポーツだけでなく多様な使い道
- 多くの人々が利用できる地域の施設
- 施設利用料などの収入をコンスタントに得ることができる



スポーツとエンターテインメントを組み合わせることができるため、
スポーツに関心がない人も親しむことができる新たな施設の実現



②サーキット場の建設（公道の利用案）

普段は公道として使用する道をサーキットとして使用する！！

例えば...

F1



NASCAR



MOTOGP



ゴーカート



②サーキット場の建設（公道の利用案）

- 臨海部である夢洲は騒音被害や危険性を考えても好条件の環境である
- 公共交通機関のアクセスの充実した都市部での開催は前例がないためシティセールスにつながる
- サーキットが行われなるときには一般道として使用することもできる（例：スペインのバレンシア・ストリート・サーキット）



今まで大阪に親しみがな
かったスポーツの導入



アリーナとサーキット場の建設により、IR
とスポーツを融合した新たなエンターテイ
ンメント施設による地域活性化策



**大阪からスポーツを通じ関西全体を
盛り上げる！！**

参考文献

- Benchmarking Travel & Tourism Global Summary (WTTTC May 2015)
- 産経WEST国の未来かけカジノ解禁 シンガポールにそびえ立つ巨大リゾート (2018年4月4日)
- 毎日新聞 (2018年1月16日)
- 澳門特別行政区政府統計普查局
- Mastercard Destination Cities Index(2017年9月)
- 大阪府・大阪市IR推進局 (2017) 「大阪IR基本構想 (案) ・中間骨子」
- 大阪府・大阪市IR推進局 (2018) 「なぜ、大阪がIR誘致をめざすのか」
- 大阪府・大阪市 (2016) 「大阪都市魅力創造戦略2020」～世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速～
- 夢洲まちづくり構想検討会 (2017) 「夢洲まちづくり構想」～新たな国際観光拠点の形成に向けて～



ご清聴ありがとうございました